

梨の花



市川市立稲荷木小学校

〒272-0024 市川市稲荷木 1-14-1 Tel 376-5961

<http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp>

「笑門来福」 ～笑顔で過ごせる一年に

校長 清田 博之

(児童向けに書かせていただきました。)

令和 4 年がスタートしました。オンライン朝会でもお話をしましたが、今日から始まる 3 学期は一年間のまとめ、そして次の学年の準備をする学期になります。新年を迎え、みなさんは、3 学期やこの一年にがんばりたいことを考えたことだと思います。

私は、みなさんが今年一年間、笑顔で過ごしてほしいなと願っています。そこで、こんな言葉を紹介します。「笑門来福（しょうもんらいふく）」。「笑うかどには福が来る」といった言葉は聞いたことがあるかもしれませんが、同じ意味です。では、みなさんに聞いてみますが、「自分を笑顔にしていますか？」 どうしたら、笑顔になれるでしょう？

「楽しいとき」「嬉しいとき」ですか？でも何もしないのに、楽しいことや嬉しいことはないはずですね。逆に、注意されたときには笑顔になりませんよね。

当たり前のことをきちんとやったり、一生懸命に取り組んだり、友達と一緒に頑張ったりしたからこそ、出てくる笑顔だと思います。3 学期は、自分自身の頑張りで、達成感を味わったときの笑顔を増やせるようにしていきましょう。

もう一つ質問をします。「あなたは、誰かを笑顔にしていますか？」どうでしょう？

私は、笑顔にしてもらったことがたくさんあります。それはみなさんの頑張る姿を見たときや、優しさに触れたときです。でも、私が誰かを笑顔にしているかどうかわかりません。みなさんも考えてみてください。あなたのちょっとした声かけや優しさ、温かい励ましで笑顔にすることができるはずです。自分もそうですが、まわりの人も笑顔になるようなそんな優しさも大事にしてください。

笑顔は人と人をつなぐ役割があり、心も優しくなります。全校の児童と先生方が力を合わせて楽しい学級、楽しい学校、笑顔あふれる学校にしていきたいと思います。

笑う門には
福来たる



※市川市教育委員会からの新型コロナウイルスに対する対応についての指針です。

新型コロナウイルスに対する3学期以降の対応について

昨年の9月以降、減少傾向が続いていた新型コロナウイルスですが、年末から増加傾向に転じています。今後は、オミクロン株の影響などもあり、急激な感染拡大が起きるとの報道もあります。

3学期の教育活動につきましては、しばらくは感染対策を一部緩和した「コロナ禍における今後の教育活動について」(令和3年12月7日更新)に基づき実施いたしますが、感染状況が悪化した際には「新たな学校生活スタイルガイドライン」(令和3年9月13日更新)に戻して対応いたします。

また、感染拡大時の対応につきましては、今後オミクロン株に置き換わったとしても、「新型コロナ感染症対策に関する基本的な考え方」にお示した通り、本市におきましては、休校や短縮日課、登校人数を減らすような分散登校などを市内全ての学校に対して一律に実施することはありません。あくまでも、感染者が確認された学校に対して、学級閉鎖や学年閉鎖、休校等により対応することといたします。

ただし、オミクロン株はこれまでの株と比べて感染力が高いとも言われています。今後、今まで本市では確認されていなかった学校内で子どもから子どもへの感染が見られるなど、現在の感染対策では学校内での感染拡大を抑えることが困難と判断した際には、学級閉鎖等の判断基準の見直しや、状況によっては、ブロック内や市内一斉の休校、学級・学年別登校などを講じていくことも想定しています。(特別支援学校については、教育委員会と学校が協議し、児童生徒の実態や特性に応じた対応となります)

変異株であっても、三密(密集、密接、密閉)の回避や、黙食、換気、マスクの適切な着用、手洗いなどが有効とされていますので、引き続き警戒を高め、対策を徹底してまいります。